



夜はたくさんの方にぎわいました。

金魚をゲットして
ご満悦な志さん。



「息子家族と同居するまで元気で頑張る」と金雄さん（左）と逸子さん（右）

して来ている。今は2人暮らしたが、いずれ息子家族が帰ってくるんだ」と金雄さん。「この祭りを息子たちに教えたくて、これを送ろうと思ってるんです」と祭典のしおり（大館祭典実行委員会発行）を手に逸子さん。お二人とも、息子さん家族との同居の話には本当にうれしそう。早く実現できると思います。

お

祭りといえば出店。金魚すくい。昔から定番の人気スポット。おや、なんと1度に2匹をゲットしご満悦なのは、高橋志さん（城西小4年・東新）。すごいねとカメラを向けたら、ゴメン、紙が破れちゃった。集中力をそじやったみたい。「学校では、体育が好き。週に1回の茶道部に入っているの」と志さん。なるほど、茶道で習った落ち着きが、金魚すくいに通じたのか、などと一人合点。「来年は、山車に乗って太鼓をたたくの」。おお、いいネー。志さんの瞳がキラリと輝きました。

休

憩中の山車は、東講。東講といえ、もしかしてあの元氣なお母さん？ いました。「エッ、アハハ、へへ！」と若松榮子さん（東町）は、もうすっかりでき上がってる様子。それでも「私はね、子供たちの（祭りの）けいこに行っただけど、指導やしつけはきびしいの。今のお母さんたちは甘い！」と一喝。でも周りのお母さんたちは一様にニコニコ顔。じゃ、写真を…。山車に乗っている方がいい写真が撮れるよと周りから。フラフラと人の手を借りて乗り込む榮子さん。大丈夫かな？ お囃子が始まると、アラ、すでにパフォーマンスが始まっているじゃないですか。しかも榮子さんはすでに無我の境地へ…。この元気をぜひ見せにきて欲しいと巡行を頼まれることもあるんだとか。このパフォーマンスを見たら、しばらくは元気にやっていけそうですものね。榮子さん、これからもズーっとお願いしますヨ。

では、次回もあつてグッド！



「子どもたちの本番での集中力をほめてほしいの」と榮子さん。



ごらんください、このパフォーマンス。

あつてグッド

歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

市民の皆さんが
たくさん登場

これまでの
登場者数

226人

83,964人
(H18.9.1現在)

「あつてグッド」は、歩いて行くの方言「あつてえぐ」と会って良かった(グッド)を掛け合わせもじったものです。